

## 第5回 府中市男女共同参画推進協議会 議事録

- 日 時 平成29年12月22日（金）午前10時～正午
- 会 場 府中市役所北庁舎3階会議室
- 出席者 （委員）  
諸橋会長、内海副会長、糸井委員、芝辻委員、杉本委員、徳原委員、内藤委員、長屋委員、堀井委員、松本委員、向井委員、谷田部委員  
（事務局）  
田代地域コミュニティ課長、松本地域コミュニティ課長補佐、肥後男女共同参画推進係長、高畑主任
- 欠席者 なし
- 傍聴者 1名
- 議 事 審議事項  
1 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価について  
2 府中市女性センターの事業計画及び運営について
- 資 料 1 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書・第三者評価（案）

開会

### 【会長】

定刻になりましたので、第5回府中市男女共同参画推進協議会を開会いたします。まず、事務局から本日の委員の出席状況等について、報告をお願いします。

### 【事務局】

まず、本日の出席状況でございますが、定数12名中12名の委員の皆様に出席をいただいております。過半数を超えておりますので、本協議会は有効に成立していることを併せてご報告いたします。

続きまして、本日の傍聴ですが、現在までに1名の方の応募があります。傍聴の許可につきまして、本協議会のご判断をいただきたいと思います。存じます。

### 【会長】

それでは、委員の皆様にお諮りします。傍聴を許可してよろしいでしょうか。それでは、

異議がないということですので、傍聴者の入場を許可いたします。事務局お願いします。

(傍聴者入場)

**【事務局】**

次に資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

資料は以上でございます。それでは、会長、よろしく願いいたします。

**【会長】**

それでは、議事を進めます。前回11月17日に実施した第4回協議会の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、改めて修正等でお気づきになることはございますか。なお、内藤委員より、誤字の指摘をいただいております。5ページの下から8行目「流出」、同じく下から5行目「信用」を訂正させていただきます。その他、よろしいでしょうか。それでは、第4回の協議会議事録として確定させていただきます。事務局は、公開の手続きをお願いします。

次に、次第1の審議事項(1)府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価について、事務局からお願いします。

**【事務局】**

審議事項(1)の府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価についてご説明いたします。前回の協議会にて、前半部分の確認を行いました。2枚目の11ページをお願いします。施策(1)国際理解と国際交流の推進の右下にあります、「判定及び改善策の提言」に、「また、市民と外国人が積極的に交流する機会を増やし、互いの言語・文化を学ぶ講座等の開催の検討もお願いします。」を追加いたしました。

次に、後半部分の協議結果でございますが、前回の協議会でご協議いただいた内容を会長と話し合い、事前に送付させていただいているものでございます。

内容につきましてご説明いたします。

(資料1の評価及び改善策等の提言読み上げ)

前回の協議内容については以上でございます。

**【会長】**

前回の協議内容をまとめた案となっております。追加等のご意見はございますか。

**【委員】**

項目45の待機児童削減等低年齢児保育の充実について、「市全体の問題として捉え」とありますが、なぜこの問題だけ市全体の問題として捉えて解決しなければいけないのか、その理由を記載したほうが良いと思います。

担当課がどれだけ保育所の定員を増やしても待機児童が解消されないのは、人口が増え、

働く女性も増えていることが理由だと思います。これは市にとっては、経済的に良いことだと思っています。保育支援課だけが苦慮するのではなく、市全体で解決してほしい問題です。

**【会長】**

一言あると良いですね。他の問題も市全体の問題ですから、この問題は特に必要だという理由を書いた方が良いですね。良い案ありませんか。

**【委員】**

流入人口が増えているというキーワードを入れた方が良いのではないのでしょうか。日本全体では少子化が進んでいますが、流入人口が多いということは「住みたい街」として選ばれているということで、非常に良いことです。働く女性が増えることは、日本全体の流れですが、流入人口が多いというのは府中市特有の状況ですからね。

**【委員】**

「検討進めてください」の後に「府中市は、流入人口が増えていることから、待機児童問題は、保育支援課だけでなく、市全体の問題として捉え」としてはいかがでしょうか。

**【会長】**

そのようにいたしましょう。他の項目はいかがでしょうか。

**【委員】**

項目48の学童クラブの充実について、「連携強化に向け、取り組んでください」ではなく「連携強化に取り組んでください」の方が良いのではないのでしょうか。

**【会長】**

そのように修正しましょう。

**【委員】**

項目85の性教育及び薬物・飲酒・喫煙等に関する教育・啓発について「性教育は大切な教育なので」とありますが、どの教育も大切です。なぜ性教育が大切なのかを記載した方が良いと思います。適正な時期に行うことが大切だという旨を記載していただきたいです。

**【委員】**

「適正な時期に」と記載した方が良いと思います。高校生より、中学生や小学校高学年に教育を行う方が効果的であると前回の協議会で話がありました。

**【会長】**

「性教育は適正な時期に行うことが大切なので」としましょう。その他、いかがでしょうか。

数値目標については、全体に関わることなので、答申の第三者評価に対する全体説明の

欄に記載しようと思います。事務局に修正していただきましょう。

それでは、次第（２）の府中市女性センターの事業計画及び運営についてに進みましょう。３月に市長へ中間報告をするためにも、今回、皆様のご意見を頂戴したいと思います。事務局の方からご説明をお願いします。

**【事務局】**

審議事項（２）の府中市女性センターの事業計画及び運営について、ご審議いただく資料についてご説明いたします。

（資料２の説明）

以上でございます。

**【会長】**

１の男女共同参画の見直しについて、どのような取り組みが必要か、ご意見はありますか。今の計画の５ページに体系図がありますので、ご覧ください。目標・課題・施策がありますので、検討しやすいかと思います。大きく体系図が変わるとは思いませんが、日ごろ府中市と関わる中で、課題や目標等の提案はありませんか。

今後も働く女性は増え、人口も増えることが予想されますので、待機児童問題は続きますね。次期計画ではオリンピックも開催され、国際化が進みます。高齢化も進み、多文化社会となっていくでしょう。

**【委員】**

固定的性別役割分業意識に対する意識改革が必要だと思います。男女共同参画はある程度進んでいますが、若者には、まだ家事・育児・介護は女性がやるものだという認識を持っている方が多いようです。根底の意識を変えていく必要があると思います。

**【委員】**

働き方改革も大切だと思います。日本の男性は残業が多く、家事・育児・介護を行うことができません。定時退庁の徹底等、働き方を変えないと難しいと思います。

**【会長】**

意識改革と働き方改革を同時に進めないといけません。特に意識改革は徹底的に行わないといけないと思います。プレミアムフライデーもうまく機能していません。制度を整えても、意識が変わらなければ、結果はついてきません。再度、意識改革について強調する必要があると思います。

**【委員】**

現在、固定的性別役割分業意識は、女性の方が進んでいると思います。男性は子育て等に関し、理解はしていても行動が伴っていないという実態があります。府中市も制度として男性の育児休暇制度はあっても、取得者が少ないことが課題だと思います。民間は男性の育児

休業を制度化できていない会社もあるのではないのでしょうか。社会の意識が高まり、民間でも育児休業制度が定着しないと男女共同参画社会が実現できないのではないのでしょうか。また、年齢によっても異なると思います。50代・60代は、母親や祖母が子育てをした方が多いと思います。20代・30代は保育園等に通った方が多いのではないのでしょうか。経営者が高齢という会社が多いため、若者との考え方が異なり、若者の考えに合わせた就業規則に変えることが難しい現状があります。ベンチャー企業等は積極的に働き方改革を行っています。

**【委員】**

今は、子どもの学校行事は両親共に参加していますよね。社会は確実に変わってきています。

**【委員】**

府中市役所は、模範を示すということで「働き方改革」「男性の育児休業を取得しやすくする」「保育園等を充実させる」ことが大切です。ヨーロッパは約30年前に、男女が働かなくてはいけない時代となった際、子どもの預け先について、社会全体で育てる仕組みづくりに取り組んでいました。しかし、日本は上手くいっていません。意識改革も重要ですが、有効な手段がなければ、制度の充実や保育所整備を進めていくべきです。

**【会長】**

意識改革と制度の充実ですね。その辺りを改めて強調する計画ということで良いのではないのでしょうか。

**【委員】**

何日か育児休業を取得すれば良いということではなく、日々の生活でも家事・育児・介護に関わろうと思えば、いくらでもできると思います。

**【会長】**

その他、いかがでしょうか。特になければ次に進みます。

2の女性センターの今後の取り組みについて、どのような取り組みが必要か、ご意見はありますか。

**【委員】**

定員に満たない講座があると思いますが、とても良い内容の講座があっても参加者が少ない印象を受けます。周知方法等を工夫できないのでしょうか。メール配信サービスもあり、魅力のある講座の周知はある程度できていますが、参加に結び付くような、あと一押しがほしいところです。

**【会長】**

講座の周知方法の工夫を記載しましょう。女性センター専用アプリ等があれば、面白いか

もしれません。

**【委員】**

男女共同参画はすべての部署と関係します。女性センターだけが行えば良いということではありません。様々な部署と一緒に行うことで、共催先の部署のネットワークを活用し、市民参加につなげることができるのではないのでしょうか。

**【委員】**

市民活動センタープラッツと女性センターで似た講座を行っていると思います。共催とすることで、お互いの利用客を取り込むことができるのではないのでしょうか。

**【会長】**

「周知活動」「他部署との連携」「市全体で盛り上げる意識を持つ」ことが大切ですね。女性センターだけで完結するわけではありません。

**【委員】**

女性センターの講座はメール配信を行っているのですか。チラシは見ない傾向にあると思いますから、メールは良いですね。

**【委員】**

そもそもメール配信サービスを知らない方が多いと思います。府中市は何人が登録されているのですか。

**【事務局】**

女性センターの講座は全てメール配信を行っております。登録者は約6,000人だと思っています。

次に、メール配信サービスの利用者の獲得についてお話しします。府中市では3.11の震災以降、メールによる災害情報の提供に取り組んでおります。防犯・防災等に限って行っていたものを市の行政情報のお知らせにも活用して行こうということで始まりました。様々なジャンルのメール配信があります。

**【委員】**

講座の参加者は定員の8割程度で合格なのではないのでしょうか。当日の参加者は天候にも左右されますので、応募者の数で、市民にとって魅力ある内容なのかが判断できると思います。

**【委員】**

魅力ある講座でも、予定が合わない、忙しい等の理由で参加するに至らないケースが多くあります。興味がある方を、どう参加に結び付けるのがポイントになると思います。工夫して参加者を増やすと、口コミで広がり、さらに参加者増につながるのではないのでしょうか。参加のきっかけづくりを行っていただきたいです。

**【委員】**

資料2の「参加」とあるのは全て「参画」だと思います。

**【委員】**

今後の取り組みについて、女性センターの利用者の多くは女性であり、専業主婦や高齢者が多い印象があります。働く世代、子育て世代、若年層の利用者を増やすことも課題だと思います。

**【委員】**

女性センターがどのような事業を行っているのかが見えづらいことも課題だと思います。わからないから利用者・参加者が少ない、少ないから広まらない、という悪循環となっていると思います。

**【委員】**

定年後のキャリアプランに関する講座や、子育てに関する講座を実施していくことで、働く世代や子育て世代を取り込めないでしょうか。

**【会長】**

様々なご意見、ありがとうございます。その他にも、資料にあるキーワードを盛り込んで、中間報告を作成したいと思います。

それでは事務局から連絡事項をお願いいたします。

**【事務局】**

次回開催日は、2月16日（金）午後4時から府中市役所北庁舎会議室で行う予定です。

**【会長】**

閉会とします。本日はお疲れ様でございました。